

大型クラゲの出現状況

(令和4年8月15日現在)

関係機関が実施した調査によると、今年的大型クラゲは昨年よりも多めで出現時期が遅く、9月下旬には津軽海峡に達すると予測されています。

- ・ 東シナ海及び対馬海峡における目視調査では、いずれも昨年を上回る大形クラゲが確認されており、今年の発生量は昨年よりも多いと考えられています。
- ・ 対馬の定置網における大形クラゲの初確認は7月12日と昨年より約1か月遅く、日本周辺海域での出現は遅めで推移している模様です。
- ・ 日本海における大型クラゲの移動予測計算の結果によると、大形クラゲは主に沖合域を北上し、来遊群の先端は9月下旬に津軽海峡に達すると予測されています。
- ・ 大型クラゲの目撃や入網がありましたら、水産振興センターまでお知らせください。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ
(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター
資源部 高田

電話 0185-27-3003

Fax 0185-27-3004